



活動報告

もりキャン autumn green camp 2013 … 9/21(土)~9/23(月祝)



▲開会式後、全員で記念写真。たのしいキャンプの始まりです！

昨年行った「もりキャン autumn green camp」。今年は昨年の岩手・福島に加えて宮城の子どもたち、計117名を招待し行いました。

初日のキャンプでは時折雨が降り、野外活動に不安を感じましたが、子どもたちの元気のおかげで悪天候になることなく決行することができました。3コースに分かれて行くこのキャンプですが、メインの一日目のキャンプでは全コースが同じ場所でテント設営やカレー作り、キャンプファイヤーなどを行いました。皆要領が良く、カレー作りは予定していたよりも早く、どの班も美味しく出来上がりました。

そしてキャンプといえばキャンプファイヤー！火の神・女神が現れたり、色々なレクリエーションをしたりして子どもたちは大盛り上がり。楽しい時間を過ごすことができました。

二日目、子どもたちの朝は早い！4時頃から元気な声が聞こえており、朝食の後に行くはずだったテントの撤収作業も自主的に始める姿に大人たちは驚かされるばかり。朝食後からは各コースに分かれて、いよいよ出発です。私はBコースと一緒にぶどう狩りへ行きました。秋の味覚、ぶどうは沢山種類があり、どれも美味しく、子どもたちは夢中になって食べる、食べる。昼食が食べられるのか心配になりながらも小岩井農場へ。ここでは昼食にジンギスカンをいただきました。

私たちの心配も何のその、ご飯をおかわりする子どもが多く多く一安心。その後は班に分かれて、小岩井農場の遊戯を楽しんだり、濃厚なソフトクリームを味わったりと充実した時間を過ごすことができました。限られたお小遣いの中でお友達やご家族にお土産を選ぶ姿は真剣そのものでした。宿では豪華なお食事をいただき、その後ははがき交換レク！班のお友達にメッセージを書くために住所の交換をしました。とても盛り上がり、宿の方に注意されてしまいましたが班の皆で楽しくレクが行うことができ良かったです。

3日目、子どもたちの元気は留まることを知りません。男性スタッフの部屋に早朝の3時頃から電話をしたり、ノックをしたり。そんな朝にぐっつりの大人たちでしたが、それだけ楽しく過ごしても

らえるのは嬉しいことです。この日は朝食を食べた後、盛岡動物公園へ。公園なだけあってとても広い園内にいるたくさんの動物に子どもたちは興味津々。「ゾウだー！ライオンだー！」という声がいろんなところから聞こえてきました。動物公園で疲れたのか、昼食会場までのバスの中では子どもたちもぐったり。

お昼はバスで熟睡している子どもたちを無理やり起こして、盛岡の三大麺「わんこそば」を体験です。食べる量は人それぞれでしたが、証明書や手形をお店からいただき、楽しい思い出づくりをすることができました。そんな3日間のキャンプもわんこそばを食べ終わった後に閉会式を行い、あっという間に終わりを告げました。帰りのバスの乗り換えでは別れを惜



▲テント設営、上手にできたよ



▲みんなで作って食べたカレーはおいしかったね



▲星空の下でキャンプファイヤー

しむ姿もありました。他県の知らないお友達と出会って、わずか3日間という短い期間でしたが、多くの子どもたちが様々なことを感じ、体験できたことと思います。これから先、この体験がいろいろな形で将来につながっていくことを期待しています。

＜いわてゆいっこ盛岡代表 立花＞



▲盛岡名物、わんこそば

Aコース

昨年に引き続き2回目の参加でした。様々な事を想定して臨んだもりキャンでしたが、やはり一筋縄ではいかない難しさ、そして面白さがありました。

コースリーダーとして反省点は多々ありますが、昨年参加してくれた子供が何人かいるのを見て、また参加したいと思ってくれた事や子供達が帰る時に充実した笑顔を見せてくれた事、まだ帰りたくない！とこぼしていた事が何よりも嬉しかったしスタッフとして携われて良かったと心から思いました。子供達にとってこのキャンプで色々な事を学び楽しみ、これからの人生においての糧になってくれたら嬉しいです。

＜コースリーダー 吉田＞

今回のキャンプでは、岩手の雄大な自然環境の中で活動ができたこと、とても楽しい子どもたちと一緒にゆったりと時間を過ごせたこと、気持ちの良い人間味あふれるスタッフの皆さんに助けて頂けたことで、とても有意義な二泊三日でした。保養としてやってきた子どもたち以上に、私自身が癒されたキャンプでした。また来年もこのような企画がありましたら、ぜひ参加させていただければと思っています。

＜山本＞

もりキャンのボランティアに参加して、たった三日間でしたが、子ども達と接する中でたくさんの事を学ぶ事ができ、とても貴重な時間を過ごす事ができました。私はもりキャンのボランティアは今回が初めてで、子ども達に安全に楽しんでもらうサポートができるか、不安な気持ちもありました。けれども、無事に三日間を終えられた時は、心から安堵したと同時に、心地よい疲れと達成感がありました。参加した子ども達にとって、日常とは違うこの三日間という時間が、少しでも良い思い出として残ってくれば良いなあと、強く願っています。また次回にも同じようなボランティアをする機会があれば、ぜひ参加したいと思います。ありがとうございます。 <千葉>

急遽日帰りのみの参加でしたが、昨年同様いろいろな意味で盛り沢山のキャンプとなりました。嬉しかったのは、去年の参加者がまた来てくださったことと、去年のボランティアさんが今年も参加してくださったことです。私のグループは団体行動をする上で少し問題がありましたが、リーダーやそれぞれのボランティアさんとのチームワークが抜群で、とても助けられました。一筋縄ではいかないことばかりでしたが、真剣に子供達と向き合ったことで、小さな成功体験や、協力することで生まれる喜びを感じてくれたことは嬉しかったです。同時に難しさも感じたので、事前に避けることができる問題に関しては対策を講じ、来年の準備としたいです。縁があって出会えた子供たちなので、彼らにとって楽しい思い出となり、記憶に残るものであれば嬉しいです。 <金城>

今年は本当にケガが多く、色々な意味で準備不足は否めないと思います。しかし、一生懸命向き合った結果、帰るときにはみんな『帰りたくない!』という、最高の誉め言葉をいただける結果になりました。ひとえに、ゆいっこのみなさんが忙しいなか一生懸命準備して下さったお陰だと思っています。本当におつかれさまでした。 <石川>

今回初めて活動に参加しました。いつもと逆の立場に立って子どもたちに指示を出したり、話を聞いてあげたりと、とても新鮮な気分になりました。様々なアクティビティを通して子どもたちの自立心を育てることは出来たと思います。例えば進んで手伝いをしてくれたり、宿泊施設での靴の揃え方、自分が使っていないものまでも綺麗に掃除、片付けをされていたり…など。積極的に行動していたところはこれからもこのキャンプが終わってからも続けて欲しいですね。また、私は高校生のスタッフとして参加して子どもたちと1番年齢が近く、大人と子どもの橋渡し役になるには高校生の力も必要なのだという事を学びまし



▲Aコース二日目は、焼走り散策から



▲葛巻高原で自然を満喫



▲三日目の朝、牛のお世話をしました

た。今の年齢でしかできないことを見つけられたような気がしました。小学生は予想以上にしっかりしていて、また夢中になりやすくて、かわいい面もあり、将来は小学生などの子どもたちと関わる職業もいいなと思いました。また来年があるのならキャンプだけでなくボランティア、スタッフとして参加したいです。ありがとうございました。
＜山崎＞

Bコース



▲観光ブドウ園ではぶどうが食べ放題



▲小岩井農場の水上ハムスターで大はしゃぎ



▲動物公園でいろんな動物を見つけたよ

今回コースのリーダーとしての参加でした。子供達は集合時や班行動時によく話を聞いてくれて、多くの人に助けられながら三日間楽しく終える事が出来ました。また、コースは違ったけれど、去年のもりキャンに参加した子にも再び会うことが出来、参加して本当に良かったなど。今後も、子供達やボランティアさんとの再会の場になったら幸いです。 ＜リーダー 馬場＞

私は去年のもりキャン2012にも参加し、ボランティアである私も子供たちと一緒に楽しめ、いい思い出を作ることが出来たので今年も参加しました。この時は各班に2人ずつボランティアがつきましたが、今回はひとりで8人も、しかも、男女両方をみる事が出来るのかという不安を持ったままキャンプが始まりました。班の子供だけに接する時間が多かったので、今は少し寂しい感じもあります。終わってみると子供たちが協力的で助かりました。今年も、私自身が楽しめ、達成感にあふれたものにすることができて本当に良かったです。
＜森谷＞

8人の班を一人で見るということで初めはとても不安だったのですが、緊張が解けてしまえば、子供達は素直で大人っぽさがありながらも無邪気さが残っていて、安心しました。今年は去年よりも一歩引いた視点で子供と接しられたと思います。大人が介入しないと顔馴染みで固まってしまうのですが、介入し過ぎるのも良くなく、皆に声をかけて、初対面の子供と子供が仲良くなるきっかけをつくる程度で良いんですね。班の子達がどんどん仲良くなっていく姿がとても微笑ましく、嬉しかったです。今年も3日間本当に楽しかった!!!また、参加した子や保護者からの感想を見て感動して、本当にこの企画に出会えて良かったなーと心から思いました。ありがとうございました！
＜江原＞

今回キャンプに始めて参加させて頂いて、あまり小学生の子ども達と触れ合う機会もなかったので私にとって貴重な体験になりました。そして、共に生活してみて、自分で考えててきぱきテントを立てたり、カレー作りを行っていたりと何でも興味をもち行動していたので、関心しました。トラブルはありましたが、大きな怪我もなく楽しく過ごしていたのでよかったです。私自身も楽しく過ごせました。ありがとうございました。
＜千葉＞

もりキャンへは、去年に続いて二度目の参加となりました。私は1日だけの参加でしたが、大勢の子どもたちの笑顔と、楽しいという言葉にとっても充実感を得ました。また、子どもたちにとっても貴重な体験となったことと思います。もりキャンでの出会いが、子どもたちの中で一生のものに育つことを願っています。最後に、3日間参加したボランティアさん、企画から携わっていたゆいっこスタッフの皆さん、大変お疲れ様でした。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。
＜藤原＞

Cコース

初日以外はほぼタイムスケジュール通りでバタバタせずゆとりもあり、子ども達との交流を楽しんだり子どもの主体性を尊重できたと思います。怪我をしてしまった子もいましたが、Cコースには看護師が3名おり、手当てや対応が迅速で適切で素晴らしく、安心してキャンプを過ごすことができました。子ども達に大きな事故などはなく、協力したり楽しんでくれてよかったです。このキャンプが少しでも子ども達の思い出や成長の一要素となれば幸いです。

＜リーダー 成田＞

前回いろんなご縁があって、また趣味でアウトドア経験も多いので、経験が人



▲馬っこパークにて、乗馬体験

の役に立つならともりキャンに参加させていただきました。事前情報でボランティアの人数が不足しているという事で、会社の同僚を誘っての参加になりました。前回は経験してたので多少は心構えがあったのと、今回は自分の担当する子供たちとしっかりコミュニケーションが取れてよかったです。いろいろトラブルはあったけど、子供たちにいい経験だったと思ってくれたら幸いです。また次回があれば参加したいと思います。 <浅井>

結論から言うととてもハード（充実した）3日間だったと思います。それはボランティアさんだけではなく、子供達もそうだったと思います。皆、非日常的な自由度の高い生活を送ることができ、この体験を将来的に忘れたとしても心の中に残る一生の思い出になると感じました。 <兼平>

今回、もりキャンに参加できたことを本当にありがたく思います。仕事柄、小学生と関わる機会は多いのですが、今回のように三日間、子供たちとずっと一緒に過ごすことは初めてだったので、キャンプが始まるまでとても緊張していました。子供たちと出会ってからは本当に楽しくて楽しくて仕方がなかったです。自分の至らない点や不慣れな部分が多く、ご迷惑をおかけしてしまいましたが、周りのスタッフの皆さんがサポートしてくださり、無事に三日間を過ごすことができました。何より、子供たちのキラキラした笑顔にたくさんパワーをもらいました。いろいろなことを考える、感じる良い機会を与えてもらえたと思います。本当にありがとうございました！ <伊藤>

子供たちと一緒に過ごせてとても充実した時間を過ごすことができました。班の子供たちとの関わりでは、男子のお世話を時間がかかり、女子ともっとゆっくり過ごせたら良かったかな、と思います。初めてボランティアとして参加し、至らぬことが多かったにも関わらず、立花代表をはじめ、ボランティア経験者のスタッフの皆様へ援助していただきました。ありがとうございました。 <鈴木>

スタッフの活動は思った以上に忙しく、自分が受けもった班の子をまとめるだけで精一杯になっていました。その分、班の子達とはとても仲良くなれました。私は将来、保育関係の仕事に就きたいと考えているので、他のスタッフさんの行動や、子どもに対する言葉掛けはとても勉強になりました。また、子ども達の積極的で見通しのある行動や、自然や生き物に対する優しさに感動しました。人生初のキャンプで、子ども達と一緒に沢山のことを学び、遊び、触れ合えた刺激のある楽しい2日間でした。このような機会を設けてくださって、ありがとうございました。 <藤原>



▲石神の丘を歩く、走る、遊ぶ



▲指導員の方がていねいに教えてくれた木工体験

支援金をありがとうございました！

【支援金総合計】（H25.9.30現在）

¥2,247,620

※日本財団、赤い羽根共同募金、NPO法人青年協議会からの支援金を除いた金額となっております。

【支援金をいただいた方】（H25年9月）

近藤 幸司 様

じゃじゃおいけん 様

支援金を募集しております

被災地への支援活動に使う支援金を随時募集しております。無理のない範囲でご協力いただければと思います。振込は下記口座までお願いします。

◆ゆうちょ銀行

記号/18350 番号/6602251

名義/いわてゆいっこ盛岡（イワテユイッコモリオカ）

※他金融機関からの振込の場合

店名/八三八（ハチサンハチ） 店番/838

預金種目/普通預金 口座番号/0660225

名義/いわてゆいっこ盛岡（イワテユイッコモリオカ）

◆岩手銀行

店番/107 口座番号/2061680

預金種目/普通預金

名義/いわてゆいっこ盛岡 代表理事 立花有彩

（イワテユイッコモリオカ ダイヒョウリジ タチバナアリサ）

「ゆいっこ盛岡新聞」は、いわてゆいっこ盛岡ホームページよりPDFでご覧いただけます。郵送をご希望の方は電話かメールにて事務局にお知らせください。